

新垣隆、渾身のピアノ協奏曲「新生」ついに完成！ 10月15日、紀尾井ホールにて初上演決定！

新垣隆

作曲家・ピアニスト

1970年、東京に生まれる。4歳よりピアノを始め、ヤマハ音楽教室で作曲を学ぶ。幼少時からショパンの「幻想即興曲」に憧れ、最初の発表会でそれを模した三部形式の3分程度の曲を自作自演して周囲を驚かせた。小学校4年生のころにストラヴィンスキーに出会い「子供の領分」「ペトルーシュカ」「春の祭典」等に大いに影響をうける。中学1年時から、ヤマハ音楽教室において作曲家・南聡に師事。千葉県内のアマチュア・オーケストラにおいて指揮法を高階正光に師事。千葉県立幕張西高校音楽科入学と同時に、作曲家・中川敏郎に師事。この頃、自作の曲をアマチュア・オーケストラが演奏して自分で指揮するという機会を得て、ドビュッシーや武満徹的要素を交えた曲をつくる。

1989年桐朋学園大学音楽学部作曲科に入学。三善晃に師事。在学中、若き同志による型破りな音楽に視覚的な要素を加えた演奏会「冬の劇場」に参画。同学科を卒業後、作曲家ピアニストとして多岐にわたり精力的に活動する。ピアニストとしては数々の演奏家たちと同じ舞台に立つ他、サイレント映画の伴奏も数多くこなし、そのエンターテインメント性と共に近代を検証するひとつの方法の提示としても評価され注目を集めている。作曲家としては、昭和期における作曲家達の研究に従事し現代音楽を主体としているが、ジャンルはその枠におさまらない。映画やCM音楽の作曲も手掛けている。教育者としては、2013年度まで母校の非常勤講師を約20年にわたり務める他、アマチュアのためのピアノコンペティションの企画・伴奏や八千代交響楽団の指揮を務めるなど、多くの人々との触れ合いを通じてクラシック音楽をより身近なものとして楽しめよう尽力している。

2014年2月、佐村河内守のゴーストライターを18年間務めていた事を懺悔告白。「交響曲第一番 HIROSHIMA」「ヴァイオリンのためのソナチネ嬰ハ短調」等の作曲家として、俄かに脚光を浴びる。最近ではテレビ・ラジオ番組に出演し、親しみやすいキャラクターとして今までとは違う一面も見せ輝きを増している。



ヴァイオリニスト

川島 成道

桐朋学園大学卒業後、英国王立音楽院へ留学。1997年、同院をスペシャル・アーティスト・ステイタスの称号を授与され首席卒業。1998年、東京サントリーホールにおいて小林研一郎指揮、日本フィルとの共演でデビュー。その後、英国と日本を拠点にソリストとして精力的な活動を展開し毎年数多くのリサイタルを行っている。国内外の主要オーケストラとも多数共演しており、ザルツブルグ・モーツァルテウム管弦楽団(ユベール・スターン指揮)、スロヴェニア国立マリボール歌劇場管弦楽団、ポローニヤ歌劇場室内合奏団などにソリストとして迎えられ、いずれも高い評価を得ている。CDはファースト・セカンドアルバムがそれぞれ20万枚の記録的大ヒットとなり大きな話題を集めて以来、2014年リリースの「ムーン・リヴァー〜川島成道 映画音楽を弾く」まで12枚をリリース。尚、デビュー10周年記念CD「ザ・ベスト」と「川島成道クライスラーを弾く」は、レコード芸術誌で特選盤に選ばれている。デビュー当初より音楽活動の傍ら、積極的に国内外でチャリティコンサートを行う。中学音楽鑑賞教材や高校英語教科書、高校現代文教科書に映像や文章が使用される等、社会派アーティストとしても多方面に影響を与えている。



指揮

新田 孝

岡山市出身。東京都在住。東京芸術大学音楽学部卒業。東京交響楽団(音楽監督・秋山和慶)、新日本フィルハーモニー交響楽団(音楽監督・小澤征爾)の第一ホルン奏者として活躍後渡独。指揮法とホルンを国立ベルリン芸術大学、国立ケルン音楽大学及びスイスにて学ぶ。帰国後、指揮者として独立。指揮法を小澤征爾、秋山和慶、山田一雄、荒谷俊治、V.ヴァンゲンハイム、J.マイヤーに学ぶ。NIPPON SYMPHONY代表/音楽監督・常任指揮者。NIPPON WIND SYMPHONY代表/音楽監督・常任指揮者。ROYAL SYMPHONIC ORCHESTRA(株式会社デザインK)音楽監督・常任指揮者。十日町市民吹奏楽団音楽監督。日本指揮者協会会員。日本管打・吹奏楽学会会員。21世紀オペラ実験劇場・光の会(芸術総監督/なかにし礼)代表/音楽監督。日澳協会評議員。日澳文化協会会員。(株)ミリオンコンサート協会所属アーティスト。

室内管弦楽団

ニッポン・シンフォニー

東京芸術大学教授をはじめとするヴィルトゥオーゾ及び著名コンクール入賞者を含む若手精鋭プレイヤーによって結成された。格調と熱気の演奏で知られ、永遠に偉大なる曲として光芒を放つ作品の最高の形式に最高の内容を注ぐこと、そして技法の完成を超越した境地、すなわち音楽にそなわる生命の力を表現することを目標としながら、演奏者と聴衆が一体となって作り上げるという本来の意味のコンサートを実現し、生の雰囲気と充実感を味わっていただけるよう努力しております。2013年より、総合プロデューサー/中野雄、音楽監督・指揮/新田孝による一流ソリストとの新企画<華麗なる協奏曲の夕べ>は毎回絶賛を浴びている。

新垣隆作曲、約30分に及ぶ大作「無伴奏ヴァイオリン・ソナタ」がCD化！

川島成道、超絶技巧無伴奏作品アルバム『無伴奏の世界／川島成道』
ビクターエンタテインメントより2015年8月19日リリース決定！

■収録曲 《うつろの心(ネル・コル・ピウ)》の主題による序奏と変奏曲(バガニーニ)／バガニーニアーナ(ミルシテイン)／アルハンブラの思い出(タレガ／リッチ編)／シューベルトの《魔王》の主題による大奇想曲(エルンスト)／無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 嬰ハ短調「創造」(新垣 隆)／グリーンズリーヴスによる変奏曲(寺嶋隆也)

演奏：川島成道(ヴァイオリン) 【録音：2015年5月18～20日、秩父ミュージックパーク音楽堂】



定価：3,000円+税 VICC-60832